

福井県公安委員会 開催概要

平成22年4月30日開催「定例公安委員会」



会議状況

1 個別決裁

- (1) 公文書公開決定等報告書
警察本部長に対する情報公開請求（3月29日及び4月7日付け）について、公開決定等の報告があり、これを了承した。
- (2) 教習資格認定申請に対する不認定処分
福井南警察署長から疑義進達のあった教習資格認定申請（4月13日付け）について、不認定とする報告があり、これを決裁した。
- (3) 国家公安委員会委員長宛の「ゴミの不法投棄に係る要望書」
国家公安委員会委員長宛の「ゴミの不法投棄に係る要望書」（1月25日付け）に係る調査結果の報告があり、これを了承した。
- (4) 警察職員等の援助要求
全国植樹祭に係る神奈川県公安委員会からの警察職員等の援助要求について報告があり、これを了承した。
- (5) もんじゅ燃料輸送警備に伴う警察官等の援助同意
もんじゅ燃料輸送警備に係る警察職員等の援助について、愛知県公安委員会からの同意について報告があり、これを了承した。
- (6) 県外特別派遣部隊の援助要求及び同意
原発警備に係る第111次及び第112次の県外特別派遣部隊の援助要求について、関係都道府県公安委員会からの同意について報告があり、これを了承するとともに、第113次県外特別派遣部隊の援助要求を原案のとおり決裁した。

2 包括的案件

〈報告事項〉

- (1) 警察官をかたる振り込め詐欺事件の引出役被疑者の逮捕
県警察から、警察官をかたる振り込め詐欺事件につき引出役の被疑者を本年4月22日に逮捕した旨の報告があり、被害発生状況、犯行の手口、逮捕の経緯及び今後の捜査等について説明があった。

委員から、「振り込め詐欺は、新たな手口が次々と考えられ、取り締まる側も大変だと思うが、県民の体感治安に影響を及ぼす犯罪であるので、主犯格を含め背後関係を徹底的に追及していただきたい。」旨の発言があった。
- (2) 平成22年度警察官募集活動
県警察から、平成23年度採用の警察官募集活動について報告があり、採用警察官の公示数、試験日程、人材確保対策及び採用情勢について説明があった。

委員から、「不景気に反映して警察官志望者数は多いと思うが、職務の特殊性から真に適格性がある者を採用し、警察官として必要なモラルを最初にしっかり教え込んでいただきたい。」旨の発言があった。

(3) 平成21年度被疑者取調べ監督制度の運用結果

県警察から、平成21年度被疑者取調べ監督制度の運用結果について報告があり、被疑者取調べ監督制度の運用状況、平成21年度の運用結果及び本制度の適正な運用のための主な取り組み結果と今後の取り組みについて説明があった。

(4) 福井県警察が行う会計の監査実施結果及び実施計画

県警察から、福井県警察が行う平成21年度会計監査実施結果及び平成22年度会計監査実施計画について報告があり、平成21年度会計監査の重点項目、実施期間、対象所属、監査の内容及び実施結果並びに平成22年度会計監査の重点項目及び実施予定所属について説明があった。

委員から、「厳正な会計検査を実施するとともに、警察業務の特殊性に適うスムーズな会計処理ができるように制度やシステムの一層の見直しを進めていただきたい。」旨の発言があった。

(5) 警察職員の運動習慣の推進

県警察から、警察職員の運動習慣の推進のために実施する「歩こう！1日1万歩運動“めざせ110作戦”」について報告があり、1万歩運動の目的、参加者、達成目標、実施期間、平成21年度の実施結果及び表彰について説明があった。

委員から、「1万歩運動という取り組みにおいて、平成21年度のように理想的な実施結果が出ることはめったにない。全職員が真剣に取り組んでいる証拠である。」「犯人逮捕のためには体力向上が必要であるので、本年も積極的に取り組んでほしい。」旨の発言があった。

(6) 平成22年春の叙勲伝達式の開催

県警察から、平成22年春の叙勲伝達式の開催について報告があり、中央伝達式及び福井県伝達式の受章者、受章日時・場所、拝謁日程及び功労内容について説明があった。

委員から、「危険な業務を全うされたことで、現職当時のご労苦が叙勲という形で認められ、受章される方々には心よりお祝い申し上げます。」旨の発言があった。

(7) 平成21年度第4四半期監察結果

県警察から、平成21年度第4四半期の監察結果について報告があり、警察庁が行う総合・随時監察、中部管区警察局長が行う総合・随時監察、警察本部長が行う総合監察のそれぞれの結果について説明があった。

併せて、中部管区警察局長が行う平成21年度第2四半期及び第3四半期の総合・随時監察の結果について口頭報告があった。

委員から、「業務運営状況を検証することは大切なことである。不祥事案防止の

ため厳正な監察をお願いしたい。」旨の発言があった。

(8) 「光」と「音」によるパトロールの拡充実施

県警察から、昨年度から実施している子ども・女性を守るまちづくり推進事業としての「光」と「音」によるパトロールを県内全域に拡充することについて報告があり、活動開始日、実施地区、実施者及び実施方法等について説明があった。

委員から、「署長が委嘱予定の安全・安心モニターについて伺いたい。」旨の質問があり、生活安全部長から、「子ども・女性の安全対策の一環として、各地区の特定の方々を指定して不審者情報等の通報をお願いしようとするものである。」旨の説明があった。

委員から、パトロール実施者の交通事故防止対策等について質問があり、県警察から、「活動開始前に実施者を対象に研修会を開催し、交通事故防止を含めパトロール要領等についても指導する予定である。」旨の説明があった。

委員から、「この活動に限らず、警察からの要請により民間人が地域で実施している治安対策のための各種活動の実態や活動を通じて得た警察関連情報については、治安対策の住民代表である警察署協議会に報告し情報の共有化を図るべきである。」旨の意見があった。

委員から、「本事業を県下一円に拡充することは大変良いことで、声かけ事案の減少などの効果が期待できる。」旨の発言があった。

(9) 「農村鍵かけ運動」の推進

県警察から、「農村鍵かけ運動」の推進について報告があり、侵入窃盗犯罪の現状、農村地区における空き巣、忍込みの無施錠被害状況、「農村鍵かけ運動」の目的及び取組内容について説明があった。

委員から、「家に鍵をかけないことが習慣化している農村において、住民の意識改革は極めて困難であり、鍵かけ運動を浸透させるためには、行政、学校など地域全体が長期計画で取り組む必要がある。」旨の発言があり、県警察も「ＪＡ、自治会、ボランティア団体などを中心に地域ぐるみの運動を長い目で展開したいと考えている。」旨の説明があった。

委員から、「自転車の鍵かけ運動により自転車盗難被害が減少する効果があったので、農村鍵かけ運動もしっかりやっていただきたい。また、住民が無施錠による犯罪発生の実態を認識するには広報も重要だと思う。」旨の発言があった。

(10) ２０１０年ＡＰＥＣエネルギー大臣会合に向けた危険物対策

県警察から、２０１０年ＡＰＥＣエネルギー大臣会合に向けた危険物対策について報告があり、猟銃等保管場所に対する立入検査の実施結果、火薬類取扱場所に対する立入検査の実施結果及び銃砲刀剣類一斉検査の実施状況等について説明があった。

委員から、「銃砲刀剣類や火薬物検査は、ＡＰＥＣ対策としても極めて重要である。各種危険物の検査を早く実施したことは良いことで今後も継続してしっかり指導してほしい。」旨の発言があった。

(11) 自転車通行環境の整備

県警察から、自転車通行環境整備モデル事業の報告があり、事業の趣旨、指定地区及び今後の自転車対策等について説明があった。

委員から、県内の全歩道のうち自転車が通行できる歩道の割合について質問があり、県警察から、「自転車が通行できる歩道は全体の３６％である。」旨の説明があった。

委員から、「自転車レーン利用者に対し、自転車の進行方向を認識させるために道路標示が必要ではないか。」旨及び「自転車専用レーンを設けることは、交通事故防止に効果があるので、少しでも事業の拡充を推進してほしい。」旨の発言があった。

(12) 「もんじゅ」運転再開をめぐる動向

県警察から、「もんじゅ」運転再開について口頭報告があり、運転再開の時期、反対派の予想される行動、警察措置及びＡＰＥＣエネルギー大臣会合に及ぼす影響等について説明があった。

委員から、「ＡＰＥＣエネルギー大臣会合を控えた大事な時期でもあり、反原発運動に対しては毅然とした警備を実施してほしい。」旨の発言があった。

3 個別的案件

(審議事項)

- ・ 運転免許取消処分に対する異議申立てについて
運転免許取消処分に対する異議申立て（平成２２年２月受理）について審理し、「棄却する」旨の決定をするとともに決定書（案）を決裁した。

4 運転免許の処分関係

本日（４月３０日）実施した道路交通法違反に関する意見の聴取１０件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。